

## 「九州ICTイノベーションセミナー2019」プログラム

13:30 開 会

13:35 【第1部】特別講演（九州管内の新しいICTの取組）

- (1) 「長崎大学情報データ科学部の新設と目指すイノベーション」  
講師：国立大学法人長崎大学 情報系新学部創設準備室長 西井 龍映 氏  
※講師が都合により欠席することとなりました。当日は事務局から配布資料について簡単に紹介させていただきます。  
あらかじめご了承ください（11月11日追記）。
- (2) 「放送事業者と大学などとの連携による人材の社会創出」  
講師：RKB毎日放送株式会社編成戦略局 地域戦略部長 竹下 通人 氏
- (3) 「ケーブルテレビを活用したオンライン診療の新しい取組」  
講師：株式会社ジュピターテレコム  
執行役員イノベーション推進本部長 櫻井 俊一 氏

15:10 【第2部】SCOPE研究成果発表

- (1) 「アクティブ光空間通信システムの通信品質向上に関する研究開発」  
発表者：国立大学法人佐賀大学 辻村 健 氏（研究代表者）  
（概要）災害時のアドホックネットワーク構築、及び九州北部の島しょ部などでの簡易なブロードバンド通信提供を目的として、レーザー光通信技術とロボット制御技術を組み合わせたアクティブ光空間通信システムの研究開発
- (2) 「自然災害が多発する阿蘇地域における防災・減災のための無人航空機を用いた時空間地形情報システム」  
発表者：国立大学法人熊本大学 尾原 祐三 氏（研究代表者）  
（概要）阿蘇山一帯での噴火や水害に対する防災の観点から、地域の安全・安心な生活に資する情報技術の活用を目指し、無人航空機を用いた地形情報を連続的な観測によって画像・レーザー測距データを取得し、三次元形状の把握ならびに形状の時間的変化を検出する研究開発
- (3) 「レンズレス高指向性・高感度・非冷却・近赤外線通信用センサーデバイスに関する研究開発」  
発表者：国立大学法人九州工業大学 有馬 裕 氏（研究代表者）  
（概要）空間弁別機能を高めるための高い指向性と、高速移動体でも利用できる高感度・高速性能を有し、100 mm<sup>2</sup>以下のサイズで廉価に実現できる非冷却型近赤外線センサーデバイスの研究開発

16:10 閉 会

ポスターセッションの内容（11月11日追記）

- ・「アクティブ光空間通信システムの通信品質向上に関する研究開発」（佐賀大学）
- ・「自然災害が多発する阿蘇地域における防災・減災のための無人航空機を用いた時空間地形情報システム」（熊本大学）
- ・「レンズレス高指向性・高感度・非冷却・近赤外線通信用センサーデバイスに関する研究開発」（九州工業大学）
- ・「ガウス波形による2次元BPSK信号を用いた最尤推定レーダの研究開発」（福岡大学）
- ・総務省の研究開発及び関連施策のご紹介（総務省九州総合通信局）

**【参考】戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）**

戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）は、情報通信技術（ICT）分野において新規性に富む研究開発課題を大学・国立研究開発法人・企業・地方公共団体の研究機関等から広く公募し、外部有識者による選考評価の上、研究開発を委託する競争的資金です。これにより、未来社会における新たな価値創造、若手 ICT 研究者の育成、中小企業の斬新な技術の発掘、ICT の利活用による地域の活性化、国際標準獲得等を推進します。

SCOPEについて（総務省ホームページ）

[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/scope/outline/outline.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/scope/outline/outline.html)